

思いやりの心で 大雪に立ち向かった 子どもたち

今冬は厳しい寒さとなり、全国各地に記録的な大雪が降りました。雪で困るのは、なんとといっても家や道路に降り積もる大量の雪。ニュース映像でも、雪かきにおわれる住民の姿が映し出されました。そんな中、「スノーバスターズ」として雪かきボランティアを行った岩手県の小中学生は、重労働の雪かきができない一人暮らしのお年寄りたちの救世主となりました。

スノーバスターズ大活躍

岩手県社会福祉協議会では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、一人暮らしのお年寄りや障がいのある方々の冬期間の雪かきを支援する「スノーバスターズ」活動を推進しています。活動の中心となっているのは、小・中・高校生、専門学校、短大・大学生たち若者です。

活動は、雪が降ったらスタート。毎年12月頃に地域ごとに出動式を行い、特に雪の量が多くなる1月～3月上旬にかけて、主に訪問先のお宅の玄関先や屋根に積もった雪おろし、周辺の雪かきを行います。活動には地元のパベラン隊員も同行するほか、万が一に備えてボランティア活動保

険にも加入しています。

「スノーバスターズ」のネーミングから思い出すのは、1984年のアメリカ映画「ゴーストバスターズ」。軽快な音楽にのって、4人の男たちが奮闘する幽霊退治は世界的な大ヒットとなりました。

雪を退治するスノーバスターズ。「地域に恩返しをしたい」「大勢の人が笑顔になるように」との思いを込め、大雪にも負けず、雪かきに汗を流しました。

浜っ子野球 スポーツ少年団 (11人)

浜っ子^ッは、東日本大震災に寄せられた多くの支援をいつも胸に、感

謝の心で活動している学童野球スポーツ少年団(釜石市立釜石小学校)です。その感謝を、今度は支援として返していくことを目的に、岩手県西和賀町へ「スノーバスターズ」として駆けつけました。

同町は県内でも豪雪地帯として知られ、今年の積雪は3メートル近くにもなりました。雪の少ない釜石の子どもたちは、屋根まで雪に埋もれ、窓から光が差さない一人暮らしのお年寄り宅に驚きながらも、力を合わせて除雪作業を行いました。

このボランティアは3年ぶりでしたが、子どもたちは一人ひとり小さな力でも、力をあわせると困っている人を助ける力になることを知りました。



一戸町立 奥中山中学校 (57人)

奥中山中学校は、1、2年生で「一戸町奥中山スノーバスターズ」を組織し、21年にわたり活動を続けています。

今季の活動初日は、あいにくの雨となりましたが、12名が参加。2組に分かれてお年寄り宅を訪問し、屋根から落ちて固まった雪などをスコップで丁寧に取り除きました。単なる雪かきと違い固まった雪の除雪は一苦勞でしたが、日頃の恩返しができればと作業に励みました。

八幡平市立 安代中学校 (78人)

安代中学校は「八幡平市安代地区スノーバスターズ」として、平成14年から活動を続けています。活動は、毎週日曜日。地元住民と2班にわか

れて、一人暮らしのお年寄り宅などを回り、敷地内の道や軒下などの雪かきに取り組みました。毎年、スノーバスターズに助けられているお年寄りも多く「本当にありがたい」と感謝されました。

作文コンクール作品紹介 ぼくのかいた一本道

ぼ くは雪が積もるといつも雪かきをしています。雪かきは時間もかかるし体力も使うのでとても大変です。

ある日、お父さんに、「たかみさんの家の前の道も、雪かきしてくれんか。」と、言われたので、

「家の庭の雪かきのついでに、たかみさんの家の前の道も雪かきするけー。」

と言って、それから雪が積もった日は弟といっしょに雪かきをするようになりました。

そもそも、たかみさんというのは、となりに住んでいる足が不自由な一人暮らしのおばあさんです。ぼくの

おばあちゃんとも仲良しで、以前おばあちゃんにも、「雪かきをしてあげて。」ともいわれていたので、雪かきをするようになりました。

やり始めたころはいろんな思いがありました。とくに、(めんどくさいなあ、やりたくないなあ)という思いが強かったです。それでもぼくは、たかみさんが雪がつもった日も地域の人に会えるようにするために、かきつけました。お父さんやお母さんも仕事に出ていてできなくて、ぼくしかできる人がいないから、積もった日は何回もかき続けました。

その行動を何回もくりかえしているうちに、(めんどくさいなあ、やりたくないなあ)という気持ちはだん

鳥取県 河原中学校 1年 谷口 諒
だんなくなっていました。

ぼくは、家の庭の雪かきを早く終わらせて、すぐにたかみさんの家の前の道にとりかかりました。なぜなら、家の庭よりたかみさんの家の前の道のほうが、倍に長いからです。雪で段差ができて、たかみさんがこけないようにとか、雪かきした道に横につもった雪が落ちないようにとか、いろいろ考えて雪かきの道を玄関までつなげて歩きやすいようにしています。

たまたま弟も手伝ってくれます。いつもは家の庭も合わせて1時間40分はかかっていたけれど、弟といっしょならだいたい1時間ぐらいで終わります。

ある日たかみさんが、足が悪いのにわざわざ家に来て、

「雪かきしてくれてありがとう。本当に助かつとるけんあ。」

とほめてくれました。また別の日に雪かきをしていると、そのことに気づいたたかみさんから、

「いつも雪かきしてくれてありがとうな。きれいにかいてくれるけんうれしいわ。」

ともほめてもらいました。そのことは、晩ご飯の話題になったりもします。

このことでぼくは、人助けをしたら、人助けをした側もされた側もうれしくなれると、心に深く感じました。そしてこれからも、たかみさんだけでなく、ほかの人にも人助けをしていこうと思います。

(第42回作文コンクール入選)